

1. 日 時 平成17年10月13日(木) 11:35～12:20
 2. 単元名 4年 「一つの花」 5年 「わらぐつの中の神様」
 3. 本時のねらい 4年 全文を通読して感想を持ち学習課題を見つける事ができる。

◇山田小

5年 音読を通して、山場を見つけて発表することができる

○センター

4. 本時の実際 丸数字はセンターの先生担当時間

5年生への支援	5年：学習活動と子どもの動き	時間	時間	4年：学習活動と子どもの動き
◇学習課題は、黒板へ貼っておく。 ○学習課題を読ませる。 ○範読をする。 ◇見つからないときは、助言する。 ○選んだ理由を発表させる。	1. 学習課題を読む。 2. 追い読みをする。 1、2文ずつ範読を聞いた後、子どもがすぐ続いて読む。 3. 心を動かされる所を音読する。 4. なぜ、そこを選んだのか発表する。	② 30 3 ② ⑧	2 6 10 25 7	1. 学習課題を書いて読む。 2. 全文音読をしながら、わからない文字と意味の分らない言葉に線を引く。 3. 辞典で意味を調べる。 4. クイズを作る。 5. 感想を書く。

この授業を考えるにあたって

- (1) 複式の音読は、音読する学年にかかりっきりになってしまうか、あるいは、子どもたちへ任せてしまう分、指導の手が入りづらい。
 (2) 音読の際に、インターネットTV授業を行うことで、指導の手が行き渡り、それが解消できるのではないかと考えた。
 (3) 今回は、5年生2名の音読指導をお願いしたい。
 (4) 5年生は、二人だけで読み進めていくのは、困難を伴う場合がある。
 (5) CDの読みは子どもの読みを修正したり、柔軟に対応する事ができない。
 (6) 子どもが優れた読みをもとにした指導を受けられれば、より適切な理解につながると考える。
 (7) 単元の1時間目だが、事前に音読するよう勧めていく予定である。
 (8) 複式は、時間の始めにロスが生まれる事が多い。センターの先生に一方の導入部分を受け持ってもらえると、効率化が図れる。
 (9) 学習課題を「動かされる」としたのは、自分は感動とまでいかななくても、他の人は感動するかもしれないというニュアンスを含んでいる。
 よろしくお願ひします。